学校番号	1016

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	２年次 ３年次
使用教科書	「社会福祉基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、「ふくし」の言葉の意味についてみなさんと一緒に考えていきましょう。
グループ演習等で対人援助のあり方について学び、自分の考えだけでなく他者の考えに気付けるよう社会福祉に関する基礎的な知識を習得していきます。
卒業後、福祉・介護・医療・保育分野に進みたい人にとって、必要とする基礎的な社会福祉に関する知識や技術を学ぶとともに「ふくしの心」も育みます。
そして、自立とは何かを考え、自立生活支援のあり方を考えます。実習も多く、机上の空論だけでは終わらないように、日常生活に即した授業を展開しています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代社会における社会福祉の理念・意義ならびに基本的な知識を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】
社会やライフスタイルの変化がどのように社会福祉に影響を及ぼしているかを思考・判断し、問題解決のためのスキルを身に着ける。
【学びに向かう力、人間性等】
社会福祉に対する関心を高め、授業で得た知識やアプローチ方法をグループワークなどで共有するとともに、日常生活で実践する態度を身に着ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自立生活支援や社会福祉の考え方を把握し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに現代社会と社会福祉の関連性、社会福祉の理念と意義・役割を理解している。	社会構造の変容、ライフスタイルの変化がどのように社会福祉の進展に影響し、そこから派生する諸課題の解決に向け、創意あふれる考えを導き出し表現する能力を身に付けている。	社会福祉に対する関心を高め、福祉社会が抱える課題に意欲を持って目を向けるとともに、社会福祉の向上を図る創造的、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生活と福祉・社会福祉の理念・人間の尊厳と福祉社会の創造	少子高齢化と人口減少社会の到来 ・地域社会の変化 ・地域福祉と組織について ・疾病構造の変化と国民の健康づくり ・人の一生と社会福祉 ・生活と福祉 ・ライフサイクルとライフステージ ・ライフステージに応じた社会福祉 人間の尊厳と自立 ・人間の尊厳 ・自立生活支援と社会福祉 ・社会福祉協議会見学 ・防災に備えたまちづくり	a:自立生活支援や社会福祉の考え方を把握し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに現代社会と社会福祉の関連性、社会福祉の理念と意義・役割を理解している。 b:社会構造の変容、ライフスタイルの多様化に影響を受ける社会福祉の諸課題に向き合い、解決に向け適切に考え判断し、表現する能力を身に付けている。 c:自立生活支援や社会福祉の理念について関心を高め、利用者本位の支援のあり方を意欲的に追求する態度を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 発表 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート

	諸外国における社会福祉・日本における社会福祉	・諸外国の社会福祉 ・先進的な諸外国の社会福祉の歴史と歩みについて ・イギリスの社会福祉 ・アメリカの社会福祉 ・スウェーデンの社会福祉 日本国憲法と社会福祉 ・現代の福祉理念 ・社会福祉を支える諸原理 ・社会福祉の在り方や理念について ・近年の国際的な福祉の考え方 ・経済的救済中心から自立生活支援へと変化	a:諸外国及び日本の社会福祉の歴史について基礎的な知識を身に付け、各時代が担った意義・役割を理解している。 b:諸外国及び日本の社会福祉の歴史的経緯について思考を深め、それぞれの時代が担った意義・役割を適切に表現する創造的な能力を身に付けている。 c:諸外国及び日本の社会福祉の歴史に対して関心を持ち、社会福祉の歴史的経緯について意欲的に追求する態度を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 発表 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート
2	社会保障制度の意義・子ども家庭福祉・障がい者福祉・高齢者福祉	・児童福祉の原理 ・児童家庭福祉と社会福祉サービス ・少子化の推移と現状 ・子育て支援と社会のあり方 ・障がいのある子どもの福祉 ・子どものすこやかな成長と支援 ・市町村と児童相談所の役割 ・社会的養護と児童虐待への対応 ・子どもの貧困とひとり親家庭の福祉 ・子どもの権利と子ども家庭福祉	a:生活を支える社会保障制度の概要に関する基礎的な知識を身に付け、各施策の意義・役割を理解している。 b:生活を支える社会保障制度の概要について思考を深め、社会福祉の各分野の現状と課題に向き合うことで的確に考察し、表現する能力を身に付けている。 c:生活を支える社会保障制度に対して関心を持ち、社会福祉の各分野の現状と課題を意欲的に追求する態度を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 発表 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート

2	コミュニケーションの基礎・援助における人間関係の形成・社会福祉援助活動の概要		a:生活を支える社会保障制度の概要に関する基礎的な知識を身に付け、各施策の意義・役割を理解している。 b:人間関係を形成する上でのコミュニケーションの技法や社会福祉援助活動に関して思考を深め、それぞれが持つ意義や役割を考察し、表現する能力を身に付けている。 ｃ:人間関係を形成する上でのコミュニケーションの技法や社会福祉援助活動に対して関心を持ち、福祉に携わる姿勢を意欲的に追求する態度を身に付ける。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 発表 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート

3	地域福祉の進展と地域の将来・多様な社会的支援制度・社会福祉の将来と福祉の担い手		a:地域福祉における諸活動、社会的支援制度及び社会福祉の担い手に関する基礎的な知識を身に付けるとともにそれぞれが持つ意義・役割を理解している。 b: 進展かつ多様化する福祉社会について思考を深め、将来における福祉社会への展望を的確に考察し、表現する能力を身に付けている。 c: 進展かつ多様化する福祉社会に対して関心を持ち、さらなる社会福祉の発展に向けて意欲的に追求する態度を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 発表 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度